

# 学校だより 高遠の子

伊那市立  
高遠中学校  
2022/7/22  
No.7

## 読み聞かせボランティア(7/12)



読書週間に合わせて読み聞かせの時間を企画しました。ボランティアの皆さんも「緊張します」とおっしゃっていました。楽しいひと時を過ごすことができました。

## 学びの姿

～1年生数学科研究授業～

7月14日、1年生数学の授業研究会を行いました。他校の先生もお見えになって、数学の授業の教え方や学び方について研修させていただきました。どの生徒さんも一生懸命に問題を解こうと見通しをもって考え、話し合い、考え方を深めようとしていました。1年生の皆さん、緊張しましたか？



## 2学年職場体験学習(7/5~7/7)

活躍の場面がたくさんありました。



体験を通して  
「働くこと」  
を学びまし  
た。

PTA 会報  
2年連続「優良賞」受賞！



学び・イノベーション  
～1学期終業式校長講話～

1学期の終業の日を迎えました。皆さんにとって充実した1学期となったでしょうか。ここで、4月からの学校の様子をわずかですが、写真で振り返ります。その時の自分はもうどうだったでしょうか。

今日、お話をしたいのは、学びはイノベーションであるということです。「イノベーション」時々耳にしますが、聞いたことはありますか。

「イノベーション」の意味をウィキペディアで調べてみますと、このようにありました。目で追って読んでください。「イノベーション」は、技術革新という訳で、すでに1958年の経済白書で使われています。高度経済成長に向けて、社会全体が新しい技術を求めていた時代に生まれた言葉といえます。



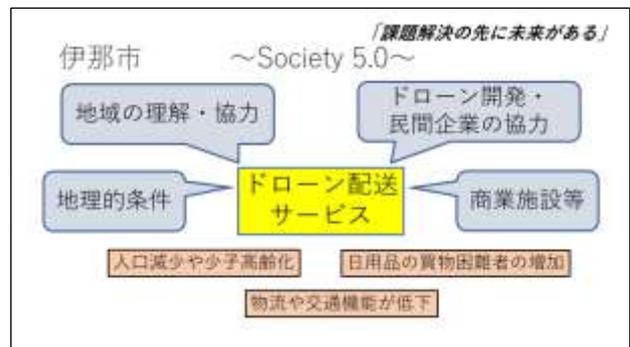
ネットモラルを学ぼう  
～南澤信之先生講演～

7月14日、全校でネットトラブル未然防止の学習を行いました。自分が被害者にならないために、そして加害者にもならないために、必要な学習です。資料も配布されましたので、生徒の皆さんだけでなく、お家の方と一緒に考えて、事件や事故に巻き込まれないようにしましょう。

現在の話です。話が飛びますが、皆さんの住む伊那市に目を向けてみると、ここにあるような言葉が伊那市の代名詞となってきています。耳にしたことのある言葉もあると思います。私は、ここにある内容は、新しいものを生み出しているという意味で、一つのイノベーションだと考えています。

これは「ドローン配送サービス」という新しいシステムに関する課題を挙げてみました。下の3つの課題を解決するために、上の4つの吹き出しの課題をクリアすることで、ドローンサービスが実現するという図式です。これは私の考えですので、実際はもっと複雑で多様だと思います。課題を解決した先に、新しい技術やシステムが生まれる。ちょっと格好つけていうと、「課題解決の先に未来がある」です。

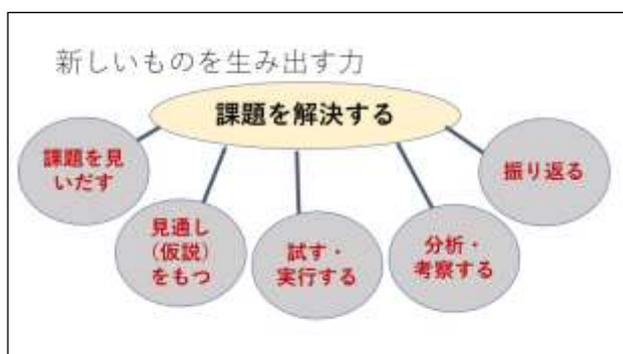
新しいものを生み出すには、課題を解決して



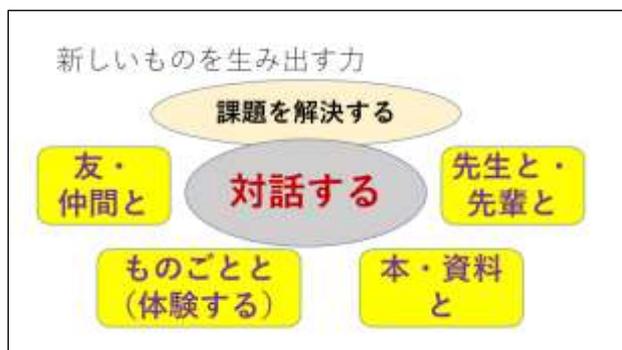
いくことが大事という話になってきました。課題解決のために、何が必要かという話をします。

一般的な手順として考えられるものをあげてみました。簡単に言うと、何が課題なのかを明らかにして、こうすればできそうかなと考えて、試したりやってみたりする。うまくいかないことが当然多いと思いますが、なぜうまくいかなかったのかを考えて、再度挑戦する。その繰り返しでうまくいったら、なぜうまくいったのか、解決できたのかを振り返っていけば、つぎうまくできるということです。この手順は、すでに皆さんは経験しています。高遠中学校の学びはこれがベースになっているからです。

もう一つ、新しいものを生み出す力として必



要なものがあります。それは、自分一人ではできないこと。相手から学ぶということです。ちょっと格好付けていうと「対話する」ということです。ヘーゲルの弁証法の話をしたことがありますが、異なる考えと出会うことで、新しい考えが生まれるというこのものと同じです。体験を通して学ぶことも含めて、この学びも高遠中学校で大事に取り組んできています。

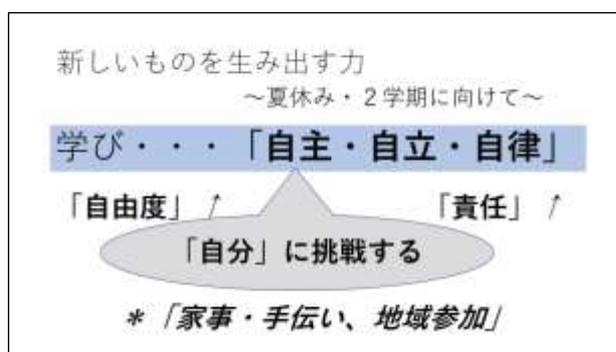


授業で話し合いをする機会が多くあると思いますが、話し合いの基本は、自分の考えを出

し、相手の意見をよく聞き、吟味して、自分の考えと照らすことです。どちらがよいかという二者択一の考えにこだわることなく、お互いのよい部分を併せ持った、新しい考え方が生まれてきたらいいですね。これが新しいものを生み出した瞬間とも言えます。皆さんには、イノベーションにつながる力を身に付けてほしいと私は考えています。

先ほどの写真もそうですが、みなさんの生活や学習すべてに、いまお話した学びの道筋が成り立っているといってもいいと言えます。

明日から夏休み。ほぼ1ヶ月の休みとなります。各学年、教科から課題が出ていますが、いわゆる夏休み帳・課題帳はありません。自分は何を課題として、どう取り組むか。自分に挑戦する休みです。やればやっただけ自分のものになる。自由度が高い分、自分で責任を負うという厳しさも含まれています。苦手なことを克服していくことは大事ですが、得意なことを伸ばしていくことも大事です。例えば課題作文を1つ出すことになっていますが、得意だ、やってみたいと思ったら、2つ、3つと出したっていいのです。それが自主、自立です。お手伝いや地域行事への参加も同じです。



安全第一、交通事故や水害などの災害事故に巻き込まれないよう、過ごしてください。休みに3年生は修学旅行。休み明けには2年生の登山が待っています。充実した夏休みを過ごしてください。